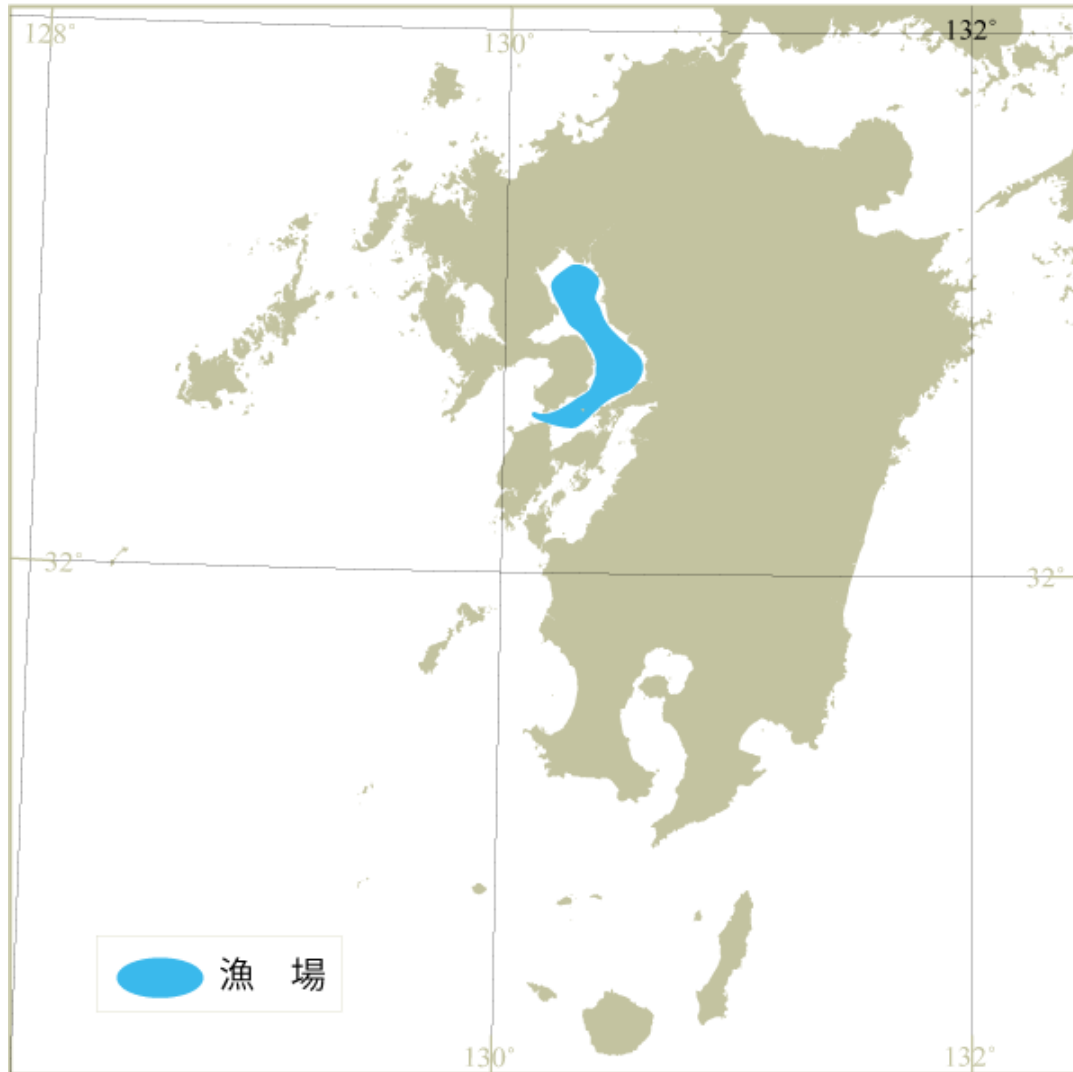




ガザミ有明海 令和7年度資源評価結果

生物学的特性

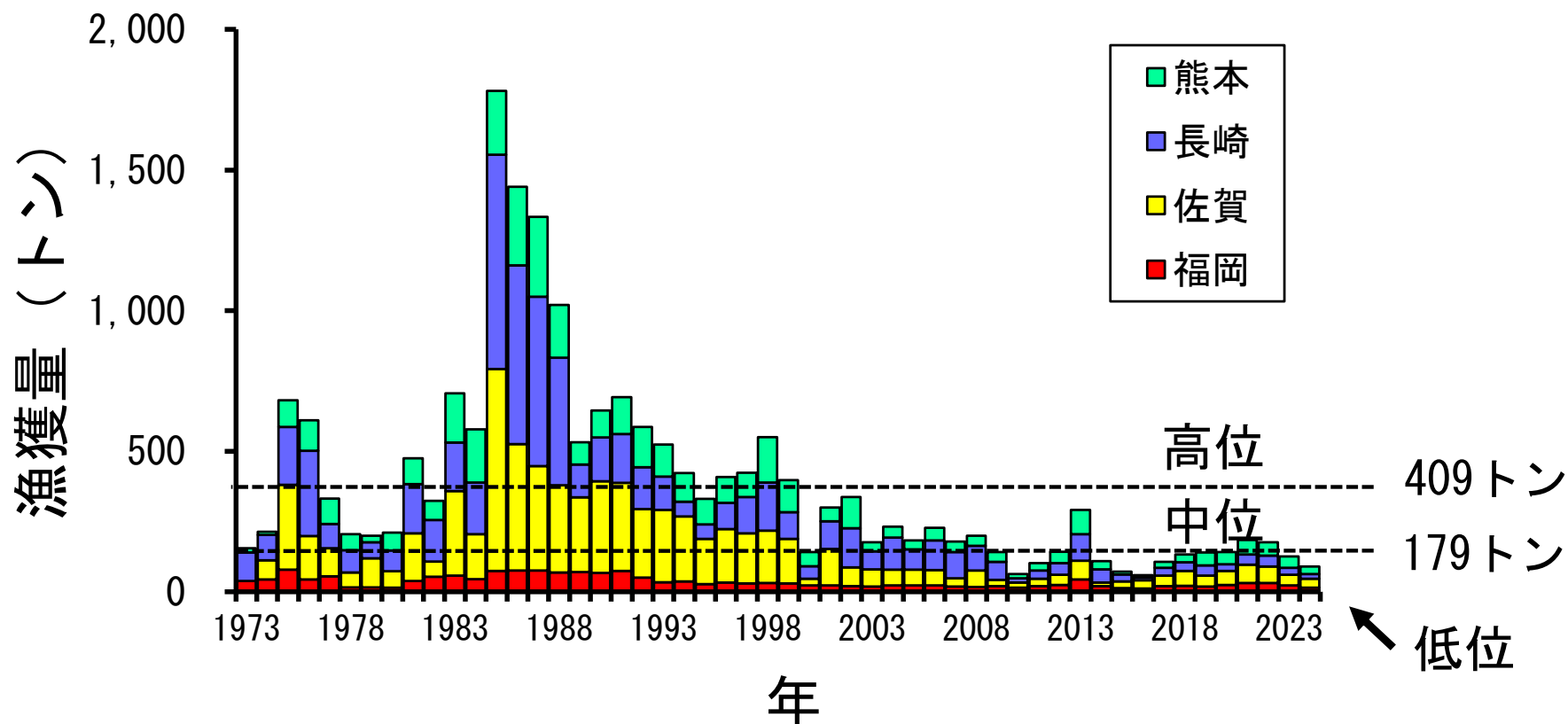


生物学的特性

- 寿命：2～3年
- 成熟開始年齢：1歳未満
- 産卵期・産卵場：4～9月
(有明海の湾央部～湾奥部)
- 食性：甲殻類、多毛類、貝類など
- 捕食者：不明

- 漁場は有明海全域
- 主漁法はカゴ、固定式刺網、たもすくい網、小型底びき網

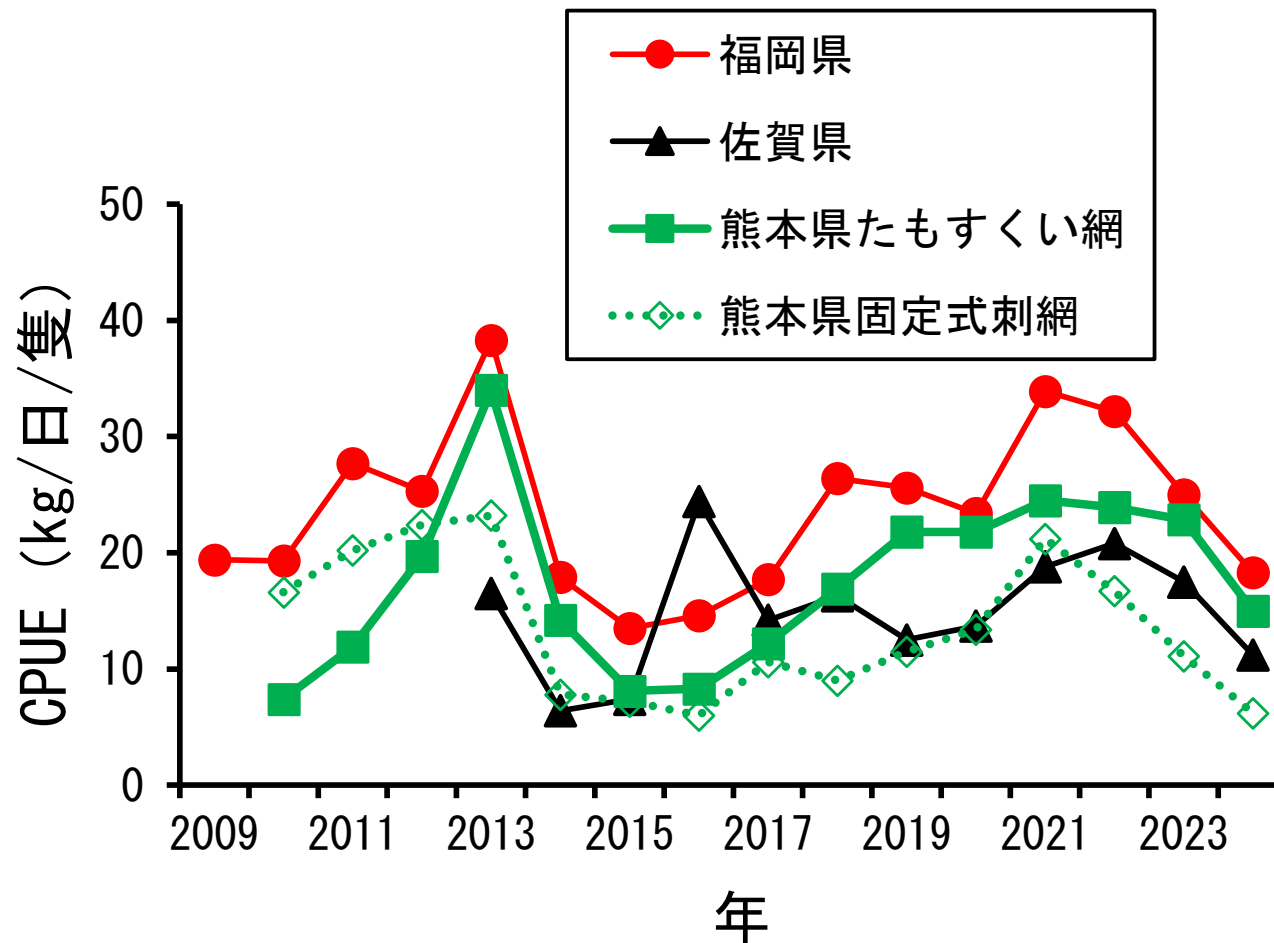
漁獲の動向



※水準区分 低位／中位：漁獲量179トン、中位／高位：漁獲量409トン
(4県合計漁獲量を三分位数によって三分割して判断)

- 4県の合計漁獲量は、1985年の最大値1,781トンから2000年の142トンにまで急減し、2024年には90トン（福岡15トン、佐賀33トン、長崎16トン、熊本26トン）となっている
- 4県合計と県別の漁獲量をそれぞれ三分位数によって三分割すると、すべてが低位に相当する

資源の動向



- 2009～2024年の各県・漁業種のCPUE（操業1日・1隻あたりの漁獲量）は、6～38（kg/日/隻）の範囲で増減を反復
- 2024年のCPUEは6～18（kg/日/隻）で、各県・漁業種の直近5年間（2020～2024年）の回帰直線の傾きはすべてマイナスで、減少傾向を示した

資源評価のまとめ

- 1973～2024年の各年の漁獲量を三分位数で分別した結果、2024年の4県の合計漁獲量は低位に相当した
- 直近5年間（2020～2024年）の各県・各漁業種のCPUEは減少傾向にあった
- 以上の漁獲量とCPUEの年変動から、2024年の有明海のガザミ資源は、低位で減少傾向にあるとみなした